

あなたの1票を なが い **永井ゆう** に託してください

1/31
市議選

【ながい・ゆうプロフィール】

1990年愛媛県今治市生まれ●松山大学経済学部卒●JA職員をへて、健和会大手町病院事務職員●趣味はマラソン・バスケット・筋トレ



若い力で政治を変える

日本共産党 市議会議員候補（八幡西区）

30
歳

保健所や市立病院を削る政治を変えたい。

私は郷里のJAで共済（保険）の営業をしていました。

営業成績もよく、仕事は楽しかったのですが、「社会保障の貧弱な部分の穴を埋めているだけではないか」という思いがずっとありました。福祉・介護・医療など、誰もが安心して暮らせる政治に変えなければと、痛切に思っていた時、石田議員からバトンを託されました。私の一生をかけるにふさわしい仕事が与えられたと決意しています。

自民・公明政権言いなりに、保健所や市立病院がリストラされてきた北九州市。このコロナ危機で、医療や公衆衛生がいかにもろくなってしまったかが浮き彫りになっています。私は共済や医療職場での経験をふまえ、そんな政治を変えたい。

みなさんのお力で、ぜひ私を市議会で働かせてください。

若い力を発揮できます

北九州市立大学名誉教授 棚次奎介



永井佑（ゆう）さんは、若くて何事も即断即決で行動に移します。同時に反省も豊かです。北九州市民に寄り添って堅実に活動してきた石田議員の後継者としても適任です。みんなの期待に応え、北九州市と折尾・本城、黒崎の明るい未来を展望できるでしょう。



石田康高市議から
バトンタッチ!

生活相談活動に全力

証紙

下北九州道路よりも

コロナ対策・暮らし 応援を最優先に!



日本共産党

コロナ「第3波」のさなかの昨年12月、国は「下北九州道路」建設に3500億円を投じる計画を公表。「こんな時に税金を大型開発に使っている場合じゃない」と批判が広がっています。「下北道路よりコロナ対策、市民生活を最優先に」の願いを私に託してください。

新しい議会できとりくみます
永井ゆうづにあなたの一票を

コロナ対策

私は、感染が広がる地域や病院・学校・保育施設などでの検査が誰でも無料で受けられるようにします。



また、市内で1つに減らしてしまった保健所を各区に復活させ、感染が追跡できる「トレーサー」を配置します。事業者への休業・時短要請は必ず補償とセットで行わせるようにします。コロナ禍を口実にしたりストラ・派遣切りを許しません。

市民の暮らし応援

返済なしの奨学金 若い人を応援します

18歳まで医療費 窓口負担ゼロ

学校給食を無償に

35人学級を ただちに全学年で

タクシーにも使える
高齢者福祉乗車券

最低賃金^{時給}1500円に
中小企業支援とともに、国に要求

地域経済
を元気に

住宅リフォーム助成制度の復活(改善)、商店街リニューアル制度などで地元中小業者に仕事を回し、公契約条例で市発注の仕事の賃上げをはかります。

北九州から
政権交代の流れ
をつくりましょう